

NPO 法人ねおす「大雪山自然学校」 活動報告

① 東川町大雪山国立公園保護協会「自然保護対策業務」

受託団体：NPO 法人ねおす「大雪山自然学校」

期間：平成26年5月1日～平成26年11月30日

範囲：大雪山国立公園内東川町の行政区域

活動内容：

- ① 登山道や案内看板等施設の維持管理と軽微な補修 【補足資料①】
- ② 国立公園内の清掃活動
- ③ 高山植物の盗掘及び山火事防止
- ④ 利用者の指導・利用マナー普及
- ⑤ 利用者への情報提供・解説・自然公園関係機関との連携 【補足資料②】
- ⑥ 監視員の育成
- ⑦ 旭岳協力金の呼びかけ・長靴の貸出 【補足資料③】
- ⑧ その他自然環境保全
 - 1 旭岳ロープウェイ駅舎におけるカウンター業務 【補足資料④】
 - 2 インターンシップの受け入 【補足資料⑤】
 - 3 自然環境のモニタリング

■補足資料① 登山道の軽微な補修



路肩の補修(補修前)



路肩の補修(補修後)



■補足資料② 利用者への情報発信

- ・ネイチャーレターの発行

期間：6 / 4 ~ 10 / 29 (毎週水曜日発行・全22回)

言語：日本語、英語、中国語、台湾語、韓国語、タイ語

※メールで海外の旅行代理店などへ送信

- ・インターネットによる情報発信

5 / 23 ~ 10 / 31 (毎日更新・全164回)



台湾語版

■補足資料③

- ・姿見駅の協力金箱の総額は1,615,205円であった。
- ・長ぐつの貸出件数は4,023件、総額は約809,600円であった。
- ※ガイドによる声掛け、レクチャーでの声掛けの効果が高い。

■補足資料④

「案内カウンター」では、利用者の満足度を向上させるために利用者のニーズ合わせた個別対応を行った。(登山情報対応、負傷者対応、ロープウェイ・バス運行情報、周辺観光案内、長靴の貸出、混雑時の人員整理及び誘導)

良く聞かれる質問は、花の名前、旭岳山頂までの時間と道状況、ヒグマの出没状況、山の名前、姿見散策路の道状況、裾合平までの時間と道状況、紅葉の時期、花の見頃、旭岳ロープウェイは冬にも運行しているのか、スタンプはあるか、旭岳自然保護監視員の業務はボランティアか。

■補足資料⑤

インターンシップは全8回、156人日を受入れた(1回の受入は3~4日間。7人程度)

②東川町青少年野営場 運営業務

営業期間：6月16日~9月30日

利用者数：1459人(うち道内722人、道外594人、海外143人)

③ガイドウォーク、エコツアー、教育旅行、子供向け環境教育プログラムの実施

主催：海外からのオーダーメイド、国内の会員向けツアー、子供会員向けプログラム実施
受託：旅行代理店や学校からの依頼による姿見ガイドウォーク、旭岳登山、宿泊での環境教育プログラム、福島県から夏の子供プログラム受入(約30人3週間)を行った。